

平成 2 3 年 第 2 回 定例会

(6 月 1 7 日)

一 般 質 問 資 料

(2 回 目 以 降 、 一 問 一 答)

自由民主党千葉市議会議員団
向 後 保 雄

平成23年 第2回定例会（6月17日）

2回目から一問一答

通告時間：40分

それでは、2回目からは一問一答で質問をさせていただきます。

1 震災対応について

(1) 東日本大震災の教訓を生かすことについて

< 質問 2 >

当局のご答弁ありがとうございます。今回の議会では、震災関連の質問が多いですから、市民局の方は対応が大変だなと同情してますが、人命に係わることですから、津波対策にはしっかりと対応していただきたいと思います。

さて、津波から避難する場合、できるだけ早くできるだけ高い場所に非難する必要があります。最近では、高層マンションや高層オフィスビルが数多く建設されておりますので、一時避難場所として、高層マンション管理組合や高層オフィスビルに協力を求めてはどうかとの市民意見をいただいておりますが、当局の見解を伺います。

< 答弁 2 >

津波から避難する場合の避難所を選定するには、想定される津波の規模により、建物の耐震性や高さ等を踏まえる必要があります、国の津波シミュレーションの検討結果にもよりますが、先ずは、学校等の公共施設を暫定的に津波避難場所として指定して参ります。

なお、高層マンション管理組合や高層オフィスビルの所有者に対しては、地域住民が主体的に津波に

対する避難対策を行えるよう、呼びかけについて検討して参ります。

< 質問 3 >

公明党の酒井議員の質問にもありましたが、津波対策は、最悪の場合を前提に対応していただきたいと思えます。

次に、「千葉市民便利帳」にも各区の広域避難場所が示されておりますが、街区公園や小学校、公民館等、もっと身近な場所も一時避難場所として数多く広報すべきと考えますが見解を伺います。

< 答弁 3 >

地域防災計画では、ある程度のオープンスペースが確保されていることを避難場所の目安としております。

街区公園等の身近な場所については、市民が自主判断で一時的に身の安全を図る場所として活用できますので、自助・共助の観点から、住民による地域防災マップの作成など、住民主体の自主防災活動の中で周知が図れるよう、出前講座等により取り組んで参ります。

< 質問 4 >

今回の震災で明らかのように、地域のリーダーとりわけ、自治会長さんの活躍は大きな力となっております。民生委員さんだけではなく自治会長さんとの連携をしっかりと構築していただきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

次に、東京湾北部地震では、断水147万戸と予想されるようですが、今回の震災でわかったように「水」は非常に大事です。そこで、防災井戸について伺いますが、現在寒川小学校には井戸があり、水道水の放射能汚染時には役立ちました。市内各小学校に防災井戸を設置することについての見解を伺います。

また、防災備蓄品の確保は十分出来ているのでしょうか伺います。

< 答弁 4 >

災害時の給水体制として、現在、市では非常用井戸を56か所、耐震性貯水槽付き井戸14か所を整備するほか、市民・事業者等の協力による防災井戸を132か所指定し、さらに、千葉県公衆浴場業環境衛生同業組合千葉支部と「災害時における飲料水の供給協力に関する協定」を締結しております。

各小学校に井戸を設置することについては、設置場所の地質等にも影響を受け費用もかかること

から、現段階では、現状の給水体制にて対応することとし、各小学校に井戸を設置することは考えておりません。

また、防災備蓄品の確保については、現行計画に基づき、食料は想定避難者数の2食分を備蓄するとともに、物流事業者や大都市間の相互応援協定により対応することとしておりますが、帰宅困難者が多数発生した今回の震災を踏まえ、防災備蓄品の品目や数量について、今後見直しを行って参りたいと考えております。

< 質問 5 >

只今のご答弁によれば、全市で約200個しか防災井戸が無いということです。これで足りるのでしょうか？水は重いですから、可能な限り近くにあったほうがいいです。そういう意味でも足りないと思いますよ。まして、すべての井戸が、安心できる飲み水として使えるのかも定かではないと思います。どうか、震災後の今、もう一度200個の井戸の点検と水質調査をお願いいたします。

次に、今回の震災において出洲港や寒川3丁目でも、津波の影響で川が逆流し川の水が溢れ出たところがありました。私も総合防災課に電話をし、早く水門を閉めてくれと、お願いをしましたが、

現場に向かっている職員の携帯電話がつながらず、状況がわからないということでした。市民から、川の水門を閉めるタイミングが遅いのでは、との苦情をいただいておりますが、

このような経験から今後どのように対応するつもりか伺います。

< 答弁 5 >

水門は、千葉県の管理施設であり、県の指令により千葉市が操作することとなっておりますが、今回の震災では、水門の操作にあたり、電話回線の不通や交通渋滞が発生し、対応に問題が生じたことから、今後は、その教訓を生かし、専用電話や遠方監視制御システムの導入について県と協議してまいります。

< 質問 6 >

水門を閉めるのか、閉めなくていいのかの判断は、一刻を争うわけです。専用電話や遠方監視制御システムの導入を検討するということですので、大いに期待しておりますのでよろしくお願いいたします。

今回の地震では、千葉市でも震度5強の強い揺れを観測し、中央区及び美浜区の一部地域に液状化による被害が発生しましたが、人的な被害がなかったのは幸いでした。被災地では、今なお懸命の復興作業が続いておりますが、地盤沈下により水没した地

域や福島第1原発からの高濃度の放射線物質の放出等が続き作業を困難なものにしています。

そこで最後に東日本大震災発生後の消防ヘリコプターの初動対応とその活動実績について伺います。

<答弁6>

消防ヘリコプターの初動対応についてですが、

地震発生後、直ちに消防ヘリコプター2機を千葉市内の沿岸部及び内陸部に出動させ、ヘリコプターテレビ電送システムを活用した被害状況を消防局指令センターに配信するとともに、陸上部隊へは液状化により通行不能となった道路状況等の活動支援を実施しました。

千葉市内での活動後は、内房方面と外房方面に分かれて千葉県内の被害調査を行い、その映像を消防局指令センターに中継し、千葉県庁及び総務省に配信しました。

その後は、消防庁長官からの緊急消防援助隊航空部隊としての出動指示により「おおとり1号」を福島県へ派遣し、「おおとり2号」については、引き続き千葉市内及び千葉県内の災害対応に当たりました。

次に活動実績についてですが、

発災当日から派遣解除となった4月30日までの「おおとり1号」の全活動件数は25件で、内訳は搜索活動4件、救急搬送9件、医薬品搬送1件、

人員搬送 1 件、被害調査 6 件及び空中消火 4 件であり、飛行時間は 5 9 時間 3 9 分でありました。

また、「おおとり 2 号」の全活動件数は 2 5 件で、千葉市内の火災及び救急活動等の他、市原市における石油コンビナート火災等に対応し、飛行時間は 1 9 時間 2 1 分でした。

以上でございます。

< 要望 >

今回の震災の経験から、素早い対応が重要であると理解できると思います。消防ヘリコプターの維持コストは大きいですが、まさに、この素早い対応に最適の装備であると思いますので、今後も災害時に対応できるよう引き続き予算措置をお願いいたします。そして、有事の時の活躍を期待しております。

(2) 原発代替エネルギーについて

< 要望 >

次に、原発代替エネルギーについてですが、ご答弁ありがとうございます。

エネルギー基本計画が見直され、再生可能エネルギーの発電量増加目標が 1 0 年前倒しになったことは喜ばしいことですが、原発からのシフトを強力に推し進めていただきたいと思います。

聞くところによると、今回の震災前の日本の全ての発電所を合わせた発電能力は2億3700万kwです。これに対して最大電力需要は1億5900万kwですから、7800万kwも余裕がある計算になります。電力不足の要因は、周波数の違いです。周波数を変える能力が100万kwしかないためだそうです。この問題が解決されれば、そもそも、日本の全原発54基の最大出力は4880万kwですので、原発がなくとも問題ない、ということになります。

地震国日本に原発は危険すぎます。それに、原発1基から発生する放射能廃棄物の量は広島に落とされた原子爆弾の1000発分に相当します。また、一番早く影響を受けるのは成長期の子ども達です。チェルノブイリ原発事故でも甲状腺がんにかかる子ども達が急増しました。

是非、チェルノブイリ事故関連のYOUTUBEを見て見てください。涙が出てきますよ。子供には何の罪もありませんから。

こんな危険で放射性廃棄物の処理問題が付きまとう原発をそれでも続けるんでしょうか？原発は将来にわたって子供たちにつけをまわすことになります。子供につけをまわさない政治を目指すものとしてこれを見過ごすわけにはいきません。

周波数変換の問題が解決されないのであれば、原発から再生可能エネルギーにシフトしてゆかなければなりません。すでに世界は大規模集中型エネルギー供給システムから小規模分散型へとシフトしています。日本の企業も今後自家発電システムへの取組みが加速してゆくでしょう。本市としても、太陽光発電設備の導入補助の拡大と、バイオガスの利用促進、そして、小水力発電、燃料電池、バイオマス発電などの再生可能エネルギーの利用促進を積極的に推進していただくことを強く要望いたします。

(3) 千葉港黒砂台線と千葉駅西口再開発事業への影響について

< 要望 >

次に、千葉港黒砂台線については、やはり、震災の影響で3ヶ月ほど遅延しそうだということですが、一日も早い開通を要望いたします。

また、千葉駅西口再開発事業についてはそれほど影響なく25年秋には完成しオープンの手配が済んでいるということですので、引き続きよろしく願いいたします。そして、ペDESTリアンデッキの暫定利用については9月には開始できそうだということですので合わせてよろしく願いいたします。

2 資産経営と債権管理について

(1) 資産経営の取り組みについて

次に、資産経営についての現状と課題は理解しました。

< 質問 2 >

それでは、本年4月、財政局に資産経営部資産経営課が新設されたわけですがその目的と役割は何なのでしょう。

< 答弁 2 >

資産の有効活用や老朽化対策を経営的な視点で推進することは重要であることから、新設した資産経営課において、資産全体を把握し、貴重な経営資源として効率的かつ計画的な利活用を図るとともに、維持管理コストの適正化を全庁横断的に推進して参ります。

< 質問 3 >

課題解決に向け、新設された資産経営課の役割に大いに期待するところでありますが、今後、具体的にどのような取り組みをされるのか伺います。

< 答弁 3 >

今後、資産総量の最適化や維持管理コストの適正化を目的とした「資産経営の基本方針」を、議会や市民の皆様のご意見を伺いながら策定するとともに、資産を有効活用するための具体的なマ

ネジメント手法や、資産情報の一元化に向けたデータ整備について、検討して参ります。

< 要望 >

ご答弁ありがとうございます。資産情報の一元化は非常に重要です。資産管理が各課に分散されていたのでは、資産経営は成り立ちません。そのためには以前私が財政課に紹介した株式会社PMCのトリプルPが役立つと思いますので、どうぞ財政課に聞いてみてください。

また、昨年解散した土地開発公社の代物弁済で取得した土地の一元管理についても是非資産経営部で検討していただくことを要望いたします。

(2) 庁舎建てかえについて

< 質問 2 >

次に、庁舎のあり方について、検討の方向性は理解しました。今後、東海地震や東京湾北部地震などの大地震の発生が予想される中、市の災害対策の拠点となる市庁舎の最適なあり方を、是非早急に検討していただきたいと思います。

そこで、今後、具体的にどのような組織をもって検討を進めるのか伺います。

< 答弁 2 >

どのような組織をもって検討を行うのかについてですが、資産経営部管財課において進めてまい

りますが、庁舎のあり方を整理するためには様々な部署が関連することから、全庁的なプロジェクトチームの編成なども検討してまいります。

< 要望 >

今回の震災で、耐震構造の弱さが露呈したわけですが、財政難で住民サービスの低下を余儀なくされているわけですから、全庁的なプロジェクトチームでしっかりと議論し、市民が納得できるように説明責任を果たすことを要望いたします。

(3) 債権管理について

< 質問 2 >

次に、債権管理の現状と課題については理解しました。今後、債権の適切な管理を行うため、具体的にどのように取り組まれるのか、伺います。

< 答弁 2 >

次に、債権管理に関する今後の取り組みについてですが、

- 1 債権の管理において大切なことは、これまで以上に適正で効率的な管理の推進と、全庁一体的な取り組みが必要なことから、新たに「債権管理対策本部（仮称）」を設置し、市の統一的な「債権管理に関する基本方針」を策定するほか、債権管理に共通して活用できる事務マニュアルを整備

します。

- 2 また、適正な債権管理を推進するため、自治体の債権管理を行う上で順守すべき法令を補完する、「債権管理条例」の検討に着手します。

< 要望 >

統一された適用条文があれば、市民にとってもわかりやすいということにもなりますので、ぜひとも債権管理条例の制定を強く要望いたします。

3 中央区の航空機騒音について

< 要望 >

次に、航空機騒音についてですが、宮崎町の2名の方から私のホームページにメールが入りました。これは相当深刻な問題です。南風好天時には必ず騒音に悩まされるとのことです。1時間のうちに30から40便も通過するわけですから大変です。うるささ指数も国の基準の70を下回っているといっても61ですから、うるさいですよ。是非とも騒音軽減を図るように国に対して要請していただくことを強く要望いたします。

4 花のあふれるまちづくりと泉自然公園の管理について

< 要望 >

次に、花のあふれるまちづくりについてですが、業者任せではなく、しっかりと行政も花壇の管理をしていただくよう強く要望いたします。

< 質問 2 >

次に、泉自然公園の管理についてですが、野鳥の隠れ家である竹やぶや雑木林は、歩道から2メートル以上は刈らないとか、野鳥が食べる木の実を消毒しないようにしてほしいとの意見を頂いてますので要望いたします。

今回の質問は、泉自然公園にカワセミを呼び戻し、カワセミを見に多くの市民や近隣の市町村から人が集まるようにしたい、カワセミを泉自然公園のセールスポイントとしたいとの思いからです。そこで以下、お尋ねします。

カワセミが減った最大の原因は、餌となる小魚が無くなったことだと聞きました。なぜ、小魚が減ったかというところ、外来種の「ブルーギル」という魚が、小魚を食べてしまうからだそうですが、なぜ、ブルーギルが泉自然公園に生息するようになったのか伺います。

< 答弁 2 >

公園の利用者が放流したものであると思います。

< 質問 3 >

それでは、この繁殖力の強いブルーギルを捕獲する手立てはないのでしょうか伺います。

< 答弁 3 >

捕獲の手立てとしては、網の捕獲や池の水を排水する方法などありますが、在来生物への影響も大きいことから専門家の意見を伺いながら、より効果的な方法について検討してまいります。

< 質問 4 >

ブルーギル退治をよろしく申し上げます。

次に、カワセミが巣作りしやすい環境を人工的に作ってあげる必要がある、との意見も頂きましたが、カワセミの巣作りがしやすい場所を作ってあげることについてのご意見を伺います。

< 答弁 4 >

泉自然公園のカワセミの生息は、野鳥愛好家の話によりますと2羽と伺っております。

エサの減少や、天敵による襲撃により、カワセミが減少している状況を踏まえ、エサ場や生育場所の確保など、カワセミをはじめとする多様な生物が生息できる環境づくりを検討してまいります。

< 要望 >

ご答弁ありがとうございます。是非、カワセミが泉自然公園の目玉になって、多くの市民が来るようになるような施策を強く要望いたします。

そして、今回泉自然公園のカワセミについて色々なご意見をいただいたのは、何十年も泉自然公園で野鳥の写真を撮っている福田さんや伊平さんです。

ちなみに、写真を提供してくれたのは、私の税理士仲間の中川さんという方ですが、こういう方達の意見をしっかりと聞いていただいて公園の管理に生かしていただきたいと思います。いわゆる、ボランティア団体や市民を巻き込んで泉自然公園の魅力向上に役立てていただくことを要望いたします。

5 モノレール駅の駐輪場の空きスペースの活用について

< 質問 2 >

次にモノレールについてですが、モノレールの利用促進の考え方についてご答弁いただきました。

私も同感でございまして、モノレールの利用促進には今まで取り組んでいるイベントや企画に加え、更なる取り組みが求められていると思われれます。

とりわけ、駅勢圏を超えた需要を取り込むことは重要と考えています。

そこで、モノレール会社では、新たな利用客の確保に向けて、今後どのような取り組みを考えているのか。伺います。

< 答弁 2 >

モノレール会社では、「パーク・アンド・ライド」の拡充や自転車を貸し出したす「モノレール・アンド・コミュニティサイクル」、沿線の学校にモノレールの利用を促す企画、更には新型車両の活用など、多様な取り組みを検討しております。

< 質問 3 >

モノレール会社としての様々な取り組みに大いに期待するものですが、利用者を増やすのは、なかなか大変なことと思われれます。

先ほどお示ししましたとおり、徒歩利用者の次に

多いのは自転車利用となっています。この需要を掘り起こすことは、重要ではないかと考えます。

そこで伺います。

スポーツセンター駅には、530台の自転車置き場が設置されていますが、5月末では、202台の契約で利用率は38%と低い状況にあると聞いております。また、千城台駅も空きスペースがあると聞いております。これらの空きスペースを活用し、モノレール定期券の購入者に対して、自転車置き場の料金を割り引くなどの「サイクル・アンド・ライド」を行い、モノレールの利用促進を図ることはいかが伺います。

< 答弁 3 >

サイクル・アンド・ライドについては、モノレールの利用促進に資する料金設定、運営など、その仕組みなどについて、自転車駐車場の管理者やモノレール会社と協議、研究してまいります。

< 要望 >

モノレール駅の駐輪場の活用について研究するとの答弁を頂きましたが、モノレールの利用促進については、とにかくお客を引き込むことが重要ですので、自転車だけではなく、オートバイなど幅広い活用について研究することを要望します。

また、栄町立体駐車場での自動二輪受け入れについて早期に実現できるよう強く要望いたします。

以上で私の一般質問を終わります。
ご静聴ありがとうございました。